

ニュースクリップ & 映像教材

- 「2004年教育映像祭優秀映像教材選奨」に160作品が参加
- 「平成16年度著作権セミナー」開催
- 日本教育工学協会「第30回全日本教育工学研究協議会全国大会」開催
- 「第3回全国こども科学映像祭」参加作品募集開始

協会情報

■ 「2004年教育映像祭優秀映像教材選奨」に160作品が参加

(財)日本視聴覚教育協会では、毎年、教育映画、ビデオ、スライド、コンピュータソフトウェア(CD-ROM)の映像教材の製作振興と利用の向上発展を図る目的で、標記選奨を開催している。

今年度の部門別参加作品数は次のとおり。()内は前年。

〈映画の部〉	8社・13作品
学校教育部門	2作品(14)
小学校向け	2作品
中学校向け	0作品
高等学校向け	0作品
社会教育部門	5作品(11)
職能教育部門	0作品(0)
教養部門	4作品(2)
児童劇・動画部門	2作品(5)
〈ビデオの部〉(スライドを含む)	

	34社・131作品
学校教育部門	56作品(51)
小学校向け	24作品
中学校向け	20作品
高等学校向け	12作品
社会教育部門	35作品(33)
家庭生活	10作品
市民生活	25作品
職能教育部門	30作品(28)
教養部門	10作品(13)
〈コンピュータソフトウェアの部〉	8社・16作品
学校教育部門	12作品(13)
小学校向け	9作品
中学校・高等学校向け	3作品
一般教養部門	4作品

AV情報

■ 「平成16年度著作権セミナー」開催

文化庁では、広く著作権制度の初歩を学びたい者を対象に、

著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的に、標記セミナーを全国7か所で開催する。

〈開催地区ならびに開催時期〉

山形市(7月1～2日)・宇都宮市(7月22～23日)・富山市(9月16～17日)・和歌山市(11月18～19日)・広島市(9月9～10日)・松山市(2月3～4日)・大分市(10月7日～8日)

〈内容〉

○「著作権制度の概要について」(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)／文化庁講師

○「著作権制度と著作権の実務」(Ⅰ)・(Ⅱ)／協賛団体講師

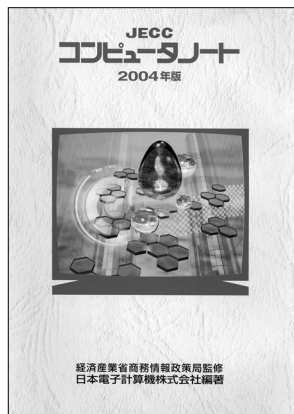
○事例研究／文化庁講師

○質疑応答／文化庁講師

〈申し込み先〉

山形県文化振興課(023-630-2311)／栃木県生活環境部文化振興課(028-623-2153)／富

ブックレビュー



「JECCコンピュータノート2004年版」

経済産業省商務情報政策局監修
日本電子計算機株式会社編著
2004年5月刊 A5判
441頁 1,995円

本書は情報通信技術に関連した諸情報を、国内および海外諸国についてコンパクトにまとめた年鑑の2004年版である。

本年鑑が取り扱う情報はタイトルから想像される範囲を大きく超えている。メインフレームからPOS端末までのコンピュータ普及状況、利用状況に関する詳細な統計値によって、我が国の情報産業の概要を知ることができる。単に製造流通に関する情報だけでなく、情報通信技術の普及のための法律や長期ビジョンの概要も示されている。年鑑らしく、本年度の関連施策が詳細に説明されており、学校教育分野における情報教育ならびに施設整備から電子政府、電子自治体に関する説明までが網羅されている。

特に注目すべき記述は、海外

状況に関する記述である。情報通信市場、情報通信政策の説明に全体の約3分の2があてられている。米国や欧州だけでなく、東南アジア地域も含めた多くの国々でのコンピュータのハードウェア、ソフトウェアから通信・インターネットの状況、さらに国別の政策やプロジェクトの概要内容が説明されている。この種の情報は、一部の主要先進国に限られることが多いため、本書の情報は非常に有益である。

申し上げるまでもなく、我が国ではe-Japan戦略の総仕上げの段階である。しかし、成熟段階にあっては、次の道筋をなかなか見出しにくいことが多い。本書は、各国や各業界での実情や取り組みを参考にしながら、新たな企画設計に役立つと期待される。(中山実)

山県生活環境部生活文化課 (076-444-3455) / 和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課 (073-441-3730) / 広島県環境生活部管理総室県民文化室 (082-513-2719) / 愛媛県教育委員会事務局文化スポーツ部文化振興課 (089-912-2973) / 大分県教育庁文化課 (097-536-1111)

*詳細については、文化庁ホームページを参照。

<http://www.bunka.go.jp/>

研究会情報

■「第30回全日本教育工学研究協議会全国大会（30回記念東京大会）」開催

日本教育工学協会では、昨年末まで「全日本教育工学研究協議会全国大会」、「コンピュータ教育研究協議会全国大会」、「日本情報教育研究協議会全国大会」の3大会を同時開催してきたが、

今大会より各大会を標記大会名に統合し、下記の内容にて開催する。

〈日時〉

平成16年11月13日（土）～14日（日）

〈会場〉

東京工科大学

東京都八王子市片倉町1404-1

〈内容〉

○基調講演①「これからの人づくり」相磯秀夫氏（東京工科大学学長）

○基調講演②「英国における効果的なICT活用と生徒の学力向上」（対談形式）清水康敬氏（独立行政法人メディア教育開発センター理事長）/レイ・ベーカー氏（英国教育サプライヤー協会部長）

○シンポジウム「ポスト2005年教室はこう変わる」赤堀侃司氏（東京工業大学教授）/中川健朗氏（文部科学省初等中等教育

局参事官）/中川一史氏（金沢大学助教授）/堀田龍也氏（静岡大学助教授）他

○先進実践報告①「デジタルコンテンツの活用法を教師にどう広めるか」コーディネータ永野和男氏（聖心女子大学教授）

○先進実践報告②「習熟度別学習にメディアをどう活用するか」コーディネータ吉崎静夫氏（日本女子大学教授）他

○総括討論：コーディネータ坂元昂氏（日本教育工学振興会会長）

○授業公開①「生き生きと表現する子の育成—情報機器を活用した音楽科における表現活動—」会場…八王子市立みなみ野小学校

○授業公開②「教育機器を活かした指導方法の工夫・改善—情報の共有化を最大限にはかろう—」会場…八王子市立横山中学校他

日本ビクター（株）は、コンパクトなボディに133万画素CCDと屋外でも見やすい「クリアブライツ液晶モニター」、さらに高画質「3次元DNR（デジタルノイズリダクション）回路」を搭載した簡単・高画質なデジタルビデオカメラ“ベビームービー”「GR-D92」を発売する。

〈特長〉

■133万画素CCDと「スーパーハイバンドカメラ回路」との組み合わせで、水平解像度約540本の高精細動画記録を実現。

■くっきりとした画像を実現するハードコート層と、映り込みを防ぐ低反射コーティング層を採用し、晴れた屋外でも明るく見やすい画面表示を実現。

■「3次元DNR回路」を搭載し、暗いシーンでの撮影時に発生する細かいノイズを抑え、クリア

ハードウェア



デジタルビデオカメラ “ベビームービー” 「GR-D92」

〈価格〉 オープン価格

〈問い合わせ〉

日本ビクター（株）
お客様ご相談センター
TEL 0120-2828-17
<http://www.jvc-victor.co.jp/>

な映像で撮影できる。

■電源の切り忘れを防止する「クイックパワーオフ」機能、暗い場所での撮影に便利な「オートLEDライト」など独自の簡単・便利機能で、初めてでも手軽に安心して撮影できる。

■「フルオート撮影」、「高倍率10倍光学ズームレンズ」など、使いやすい撮影機能で、簡単に鮮やかな撮影が楽しめる。

■カメラからの映像やテープの再生画をリアルタイムでMPEG1動画に変換して、USBから出力する「USB動画転送機能」を搭載。パソコンに取り込んだ動画を手軽に編集したりビデオCDにして楽しめる。

■VHS-Cや8ミリビデオテープなどアナログビデオテープの映像を、簡単・手軽にデジタルテープにダビングできる。

〈参加申し込み〉

平成16年10月29日（金）締切

〈問い合わせ先〉

日本教育工学協会30回記念東京大会事務局
東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル

TEL 03-3591-8290

FAX 03-5251-0752

<http://www.japet.or.jp/jaet/30tokyo/>

コンクール情報

■「第3回全国こども科学映像祭」参加作品募集開始

（財）日本科学映像協会、（独）科学技術振興機構、（財）ニューテクノロジー振興財団の主催による標記映像祭の参加作品の募集が開始された。

〈参加部門〉

○小学生部門：テーマ「身近な生き物のふしぎ」

○中学生部門：テーマ「誕生」（何かが完成するというこ

も可）

〈参加資格〉

○小学生および、その父母または祖父母などの保護者、中学生の作品で、解説は日本語であること。

○参加作品は、平成16年中に制作されたものであること。

○参加作品は、ビデオテープ（VHS、S-VHS、8ミリビデオ、ミニDV（家庭用））で制作したもの。等

〈表彰〉

○文部科学大臣賞（各部門1作品）

○優秀作品賞（各部門数作品）

○佳作（各部門数作品）

〈応募締切〉

平成16年10月31日（日）

〈入賞作品の表彰および上映会〉

平成17年1月9日（日）

日本科学未来館

東京都江東区青海2-41

〈問い合わせ先〉

（財）日本科学映像協会

東京都港区虎ノ門1-17-3 第12森ビル8F

TEL 03-3504-1625

FAX 03-3504-1626

<http://kaeikyo.net/>

短 信

■文部科学省生涯学習政策局長の銭谷真美氏が、7月1日付で初等中等教育局長に異動。後任には、田中壮一郎氏（スポーツ・青少年局長）が就任。

■（社）日本教育工学振興会の会長宮島龍興氏が5月28日付で退任し、新たに名誉会長に就任。後任会長には、坂元昂氏（前メディア教育開発センター長）が就任。

■映機工業（株）の代表取締役社長関野晃治氏が退任し、新たに代表取締役会長に就任。後任代表取締役社長兼CEOには、今井亨氏が就任。